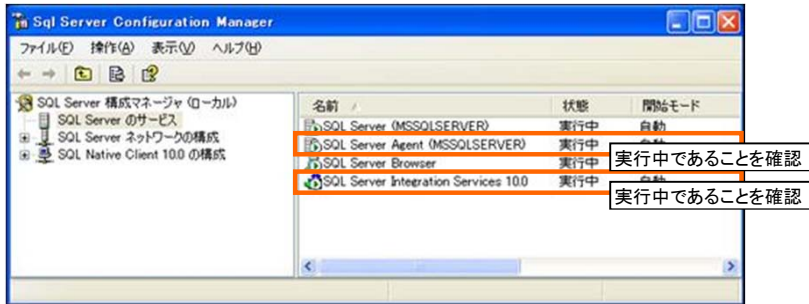


## SQL Serverのメンテナンスプランを使ったバックアップ方法

SQL Server のメンテナンスプランを使ったバックアップ方法についてご紹介します。  
ここでは、SQL Server 2008でのバックアップ方法をご紹介します。

### 【準備】

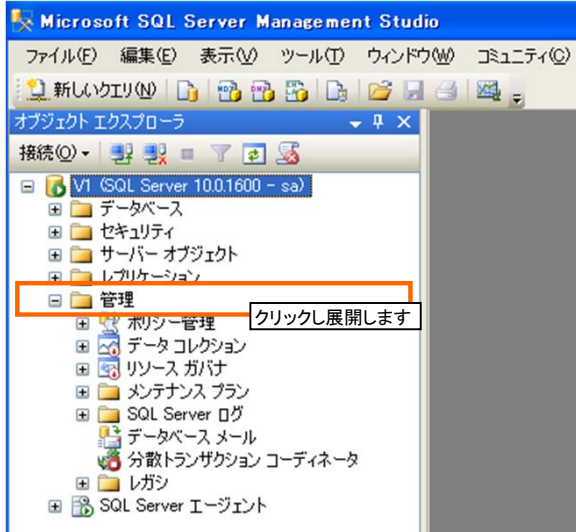
1. この方法では、以下の二つのサービスが必要となります。
  - SQL Server Agent
  - SQL Server 2008 Integration Service Manager (SSIS)
2. [SQL Server Configuration Manager]を開き、  
上記のサービスが開始されていることを確認します。  
[SQL Server Configuration Manager]は以下の方法にて開きます。
  - Windows[スタート]メニューー[すべてのプログラム]  
ー[Microsoft SQL Server 2008]ー[構成ツール]ー[SQL Server 構成マネージャ]



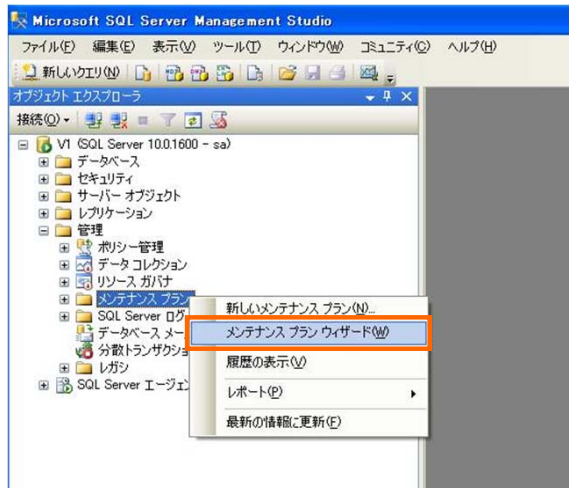
※ SSISのサービスが表示されない場合はインストールされていない可能性があります。  
SQL Server 2008のメディアまたはSQL Server インストールセンターより  
SSISの追加インストールを実施し、サービスを開始します。  
SSISの追加インストールの詳細につきましては、  
本書7ページの『参考:SSISをインストールする方法』をご覧ください。

### 【メンテナンス プランを作成する】

1. [SQL Server Management Studio]から[管理]を開きます。



2. [メンテナンス プラン]を右クリックし、[メンテナンス プラン ウィザード]を選択します。



3. [SQL Server メンテナンス プラン ウィザード]ダイアログで[次へ]をクリックします。



4. [プランのプロパティを選択]にて以下の情報を設定します。

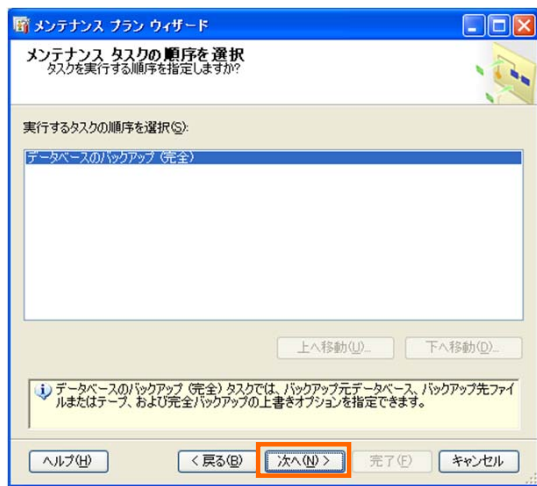
- ・ 名称
- ・ スケジュール



5. [メンテナンス タスクの選択]で[データベースのバックアップ(完全)]を選択し、[次へ]をクリックします。



6. [メンテナンス タスクの順序を選択]が表示されるので、そのまま[次へ]をクリックします。



7. [データベースのバックアップ(完全)タスクの定義]にて、対象となるデータベースなどを指定し[次へ]ボタンをクリックします。

The image shows two windows from a software application. The main window on the left is titled 'メンテナンス プラン ウィザード' (Maintenance Plan Wizard) and 'データベースのバックアップ(完全)タスクの定義' (Database Backup (Full) Task Definition). It contains various settings for a backup task, such as 'バックアップの種類' (Backup Type) set to '完全' (Full), 'データベース' (Database) set to '特定のデータベース' (Specific Database), and 'バックアップ先' (Backup Destination) set to 'ディスク' (Disk). A green arrow points from the '特定のデータベース' dropdown to a smaller dialog box on the right. This dialog box is titled '<1 つ以上を選択>' (Select 1 or more) and lists databases: 'master', 'model', 'msdb', and 'TimeTrackerFX'. The 'TimeTrackerFX' checkbox is checked. Below the list, there is a checkbox for '状態がオンラインでないデータベースを無視する' (Ignore databases that are not online). At the bottom of the dialog are 'OK' and 'キャンセル' (Cancel) buttons. A text box with the instruction 'TimeTrackerFXを選択します' (Select TimeTrackerFX) points to the checked checkbox. Another text box with the instruction 'クリックしてデータベースを選択します' (Click to select database) points to the '特定のデータベース' dropdown in the main window. At the bottom of the main window, a text box with the instruction '環境・目的に合わせて設定します' (Set according to environment and purpose) points to the '次へ' (Next) button.

メンテナンス プラン ウィザード

データベースのバックアップ(完全)タスクの定義  
メンテナンス タスクを構成します。

バックアップの種類(C): 完全

データベース(D): 特定のデータベース

バックアップ コンポーネント  
☒ データベース(E) **クリックしてデータベースを選択します**  
☐ ファイルおよびファイル グループ(S):

☐ バックアップ セットの有効期限(B):  
● 後(F) 14 日  
○ 日付(Y) 2010/07/15

バックアップ先: ☒ ディスク(D) ☐ テープ(T)  
☐ 1 つ以上のファイルにデータベースをバックアップする(S):

バックアップ ファイルが存在する場合に行う操作(O): 追加

☒ すべてのデータベースにバックアップ ファイルを作成する(R)  
☐ データベースごとにサブディレクトリを作成する(U)  
フォルダ(F): C:\BackUp\_TEMP  
バックアップ ファイルの拡張子(X): bak

☒ バックアップの整合性を検証する(V)  
☐ ログの末尾をバックアップし、データベースを復元中の状態にしておく(H)

バックアップの圧縮の設定(M): 既定のサーバー設定を使用する

スケジュール:  
不定期 (要求時)

ヘルプ(H) < 戻る(B) **次へ(N) >** 完了(F) >> キャンセル

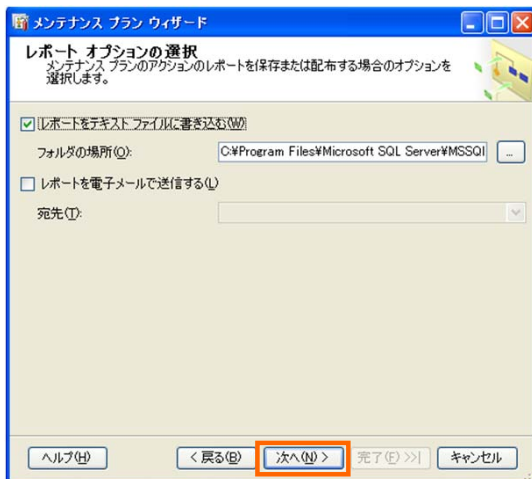
**環境・目的に合わせて設定します**

<1 つ以上を選択>

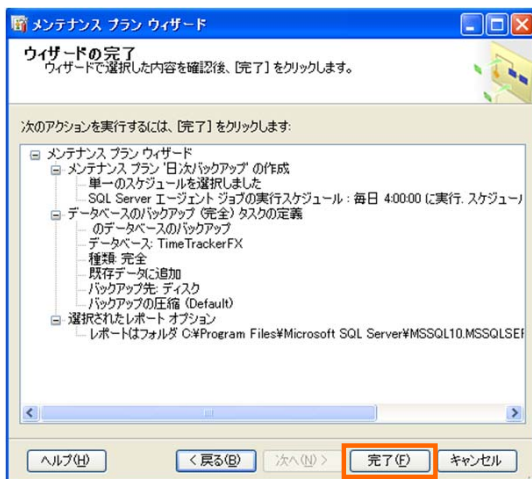
☐ すべてのデータベース(U)  
☐ システム データベース(S)  
☐ すべてのユーザー データベース (master、model、msdb、tempdb 以外)(U)  
☒ これらのデータベース(T):  
master  
model  
msdb  
☒ TimeTrackerFX **TimeTrackerFXを選択します**  
☐ 状態がオンラインでないデータベースを無視する(U)

OK キャンセル

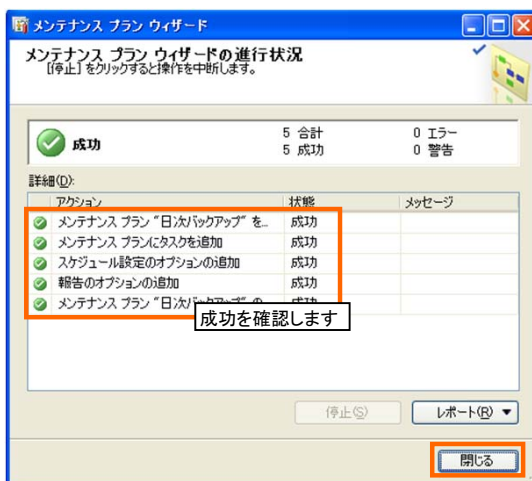
8. [レポート オプションの選択]で、[次へ]をクリックします。



9. [ウィザードの完了]で、設定した情報に誤りがないことを確認し、[完了]をクリックします。



10. [メンテナンス プラン ウィザードの進行状況]がすべて成功したことを確認し、[閉じる]をクリックします。

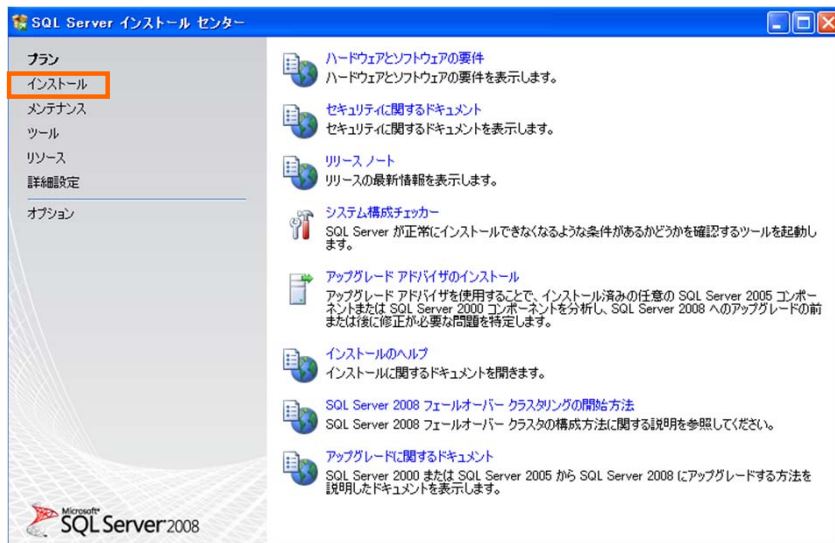


※ 上書きの設定を行わない場合は、バックアップファイルが増え続けます。

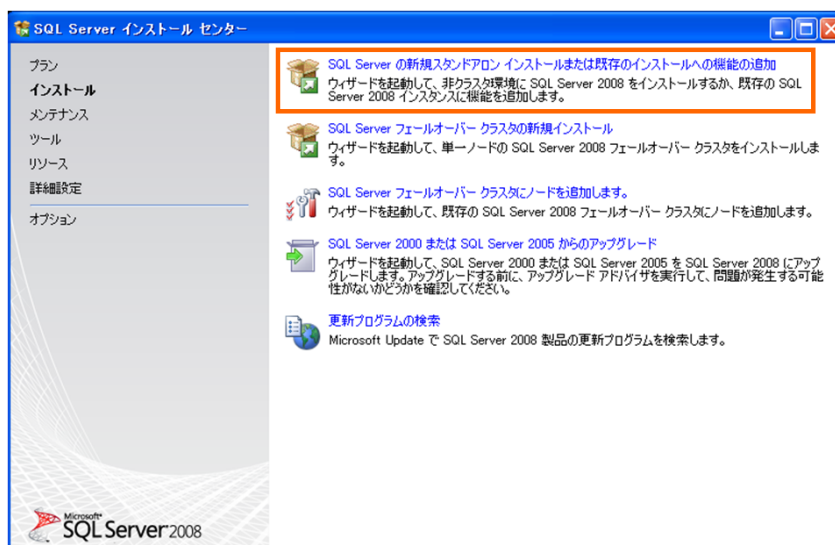
## ■参考:SSISをインストールする方法

SQL Server 2008 Integration Service Manager (以下SSIS) のインストール方法についてご紹介します。

1. SQL Server 2008のメディアよりインストーラを起動し、画面左側のメニューより[インストール]をクリックします。

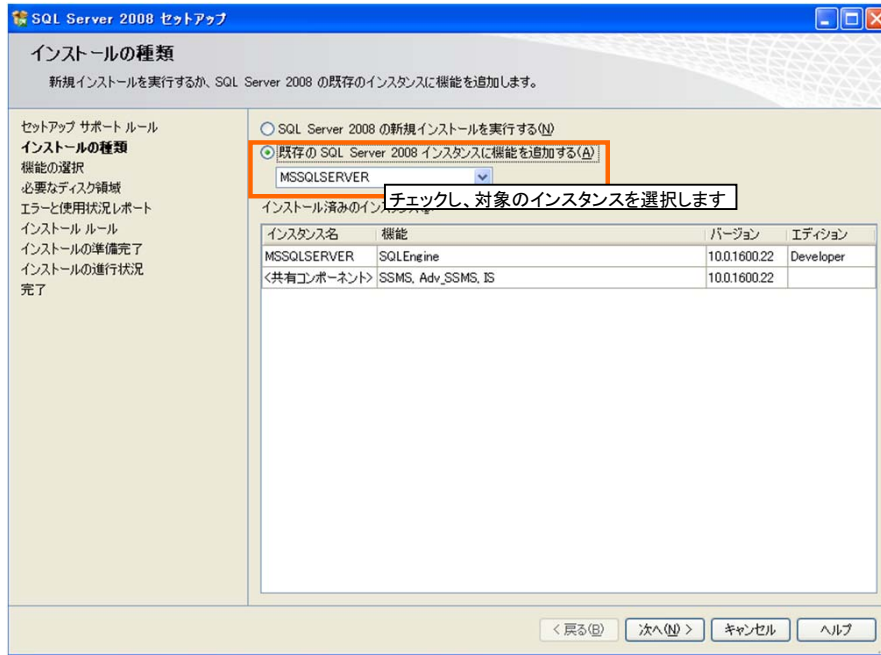


2. 画面右側のメニューより [SQL Serverの新規スタンドアロン インストールまたは既存のインストールへの機能の追加]をクリックします。

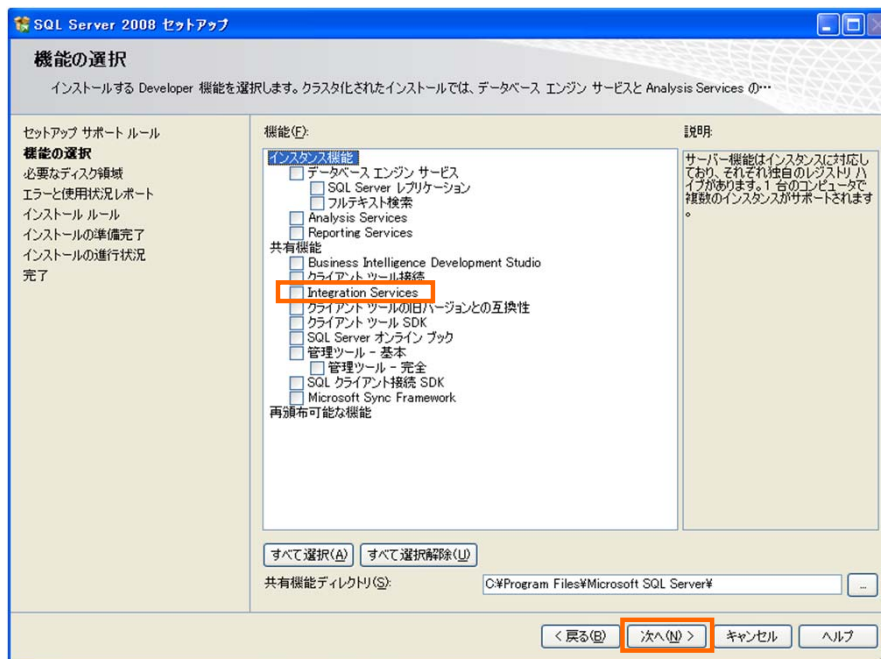


3. インストールウィザードに従い、以下の情報を確認し、インストールを進めていきます。
  - ・セットアップ サポート ルール
  - ・セットアップ サポート ファイル

4. [インストールの種類]にて[既存のSQL Server 2008 インスタンスに機能を追加する]を選択し、[次へ]をクリックします。



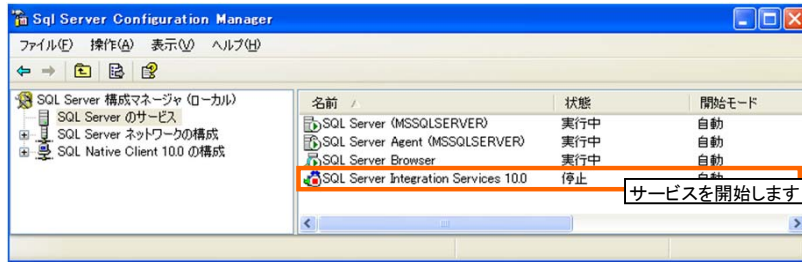
5. [機能の選択]にて[Integration Service]にチェックし、[次へ]をクリックします。



6. インストールウィザードに従い、インストールを継続してください。



7. インストールが終了したら、[SQL Server Configuration Manager]を起動し、SSISのサービスを手動で開始します。



8. [SQL Server Management Studio]を起動し、  
[メンテナンスプラン]から定期バックアップを設定します。  
詳細は、「メンテナンスプランを使ったバックアップ方法.pdf」をご確認ください。

以上